

IVAW(反戦イラク帰還兵の会)のジョー・ウィラーさんのメッセージとプロフィール



【ジョー・ウィラーさんからのメッセージ】

平和の代表として日本を訪問できるのは大変な光栄です。みなさまのすばらしい国を訪れるのは私の長年の夢でしたが、平和のためにその機会を与えていただいたことをとても嬉しく思っています。

イラクでの体験を語るのは、私にとって決して容易なことではありません。しかし、イラクが今どうなっているのかを世界の人々が理解することはとても重要なことです。イラクで何がおこなわれたのか、何がおこなわれているのか、そのことを語るのは、人間の良心のために、私の責任だと思っています。

日本への旅の日、みなさんとお会いできる日が来るのを、私は今興奮と期待をもって待っています。

2月23日 ジョー・ウィラー

【ウィラーさんのプロフィール】

三十一歳。米国カリフォルニア州在住。200年に南カリフォルニア大学を卒業、陸軍に入り、衛生兵としての訓練を受けながら大学院に学び、2002年、MBA(経営管理学修士)を取得する。同時結婚。2001年の911同時テロ以後、米軍は、アフガニスタン侵攻をおこない、イラク戦争の準備に入るが、そのなかでウィラーさんらに出動待機命令をだす。ウィラーさんは「毎日ねむれない夜」を過ごす。2003年3月、イラク戦争開始とともに、イラクに派遣される。衛生兵として勤務し、連日死傷兵の対応におわれ、そのうち、みずからもイラク住民殺害の命令をうけるが拒否する。死の戦場に直面した一年間を経て、2004年に帰還。

帰国後のウィラーさんは「まるで別人」(ウィラー夫人)。PTSD(心的外傷後ストレス障害)の症状に苦しみながら、いくつかの職を経て、現在のリムジン運転手の職につく。最近になってやっと、復員省のPTSDの認定を得た。現在、仕事をしながら、戦争に反対する帰還兵の会で活動している

【IVAW(戦争に反対するイラク帰還兵の会)】

2004年7月、平和のための帰還兵の会(VFP)ボストンでの大会の際に、イラク帰還兵だけでなく、現役兵士も含めて、戦争に反対し、批判しながら声をあげていない仲間たちに呼びかけて設立された。

現在、イラクだけでなくアフガニスタンからの帰還兵、国内の予備役兵士、州兵、現役兵士も積極的に参加。48州で会員は800人近くに達している。いまでは、イラクも含めて、現役兵士の支部がいくつもの基地の中で相次いで結成されている。

会の要求は、①イラク占領軍の即時引き揚げ、②イラク国民の損害補償、干渉の停止とイラク人自身による未来の選択と決定の保障、③帰還兵士、軍関係者に対する完全な保障と適切な健康ケア(精神的障害や困難もふくめて)。

会としては、戦争5周年を機に、3月13日から、「冬の兵士」キャンペーンを開始、米国全土で反戦行動を展開し、首都ワシントンDCで他の反戦平和団体とともに、大集会をおこなう予定。